

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

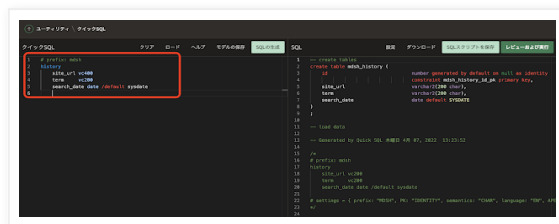
2022年4月7日 木曜日

オラクルのマニュアルを検索するアプリを作る - 検索履歴の取得

サンプルというには少々簡単すぎる気もしたので、先日作成したマニュアルを検索するアプリに、検索履歴を保存するコードを追加してみました。

最初に検索履歴を保存する表**MDSH_HISTORY**を作成します。クイックSQLの以下のモデルを使います。

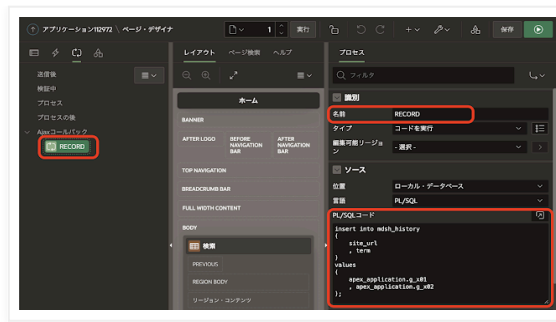
```
# prefix: mdsh
history
  site_url vc400
  term     vc200
  search_date date /default sysdate
```



ホーム・ページにAjaxコールバックとしてプロセス**RECORD**を作成します。

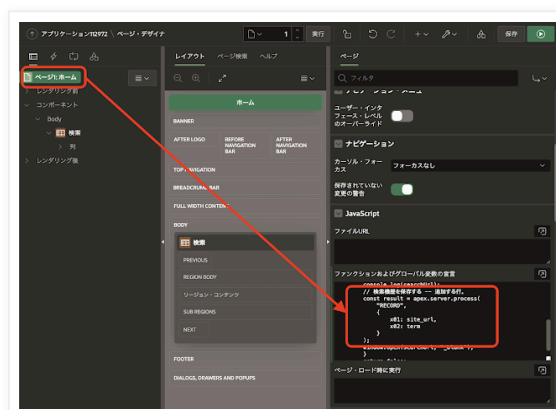
識別の名前を**RECORD**、PL/SQLコードとして以下の**INSERT**文を記述します。

```
insert into mdsh_history
(
  site_url
, term
)
values
(
  apex_application.g_x01
, apex_application.g_x02
);
sys.http.p('{}');
```



ページ・プロパティのJavaScriptのファンクションおよびグローバル変数の宣言に記述しているコードに、[apex.server.process](#)を使ったAjaxコールバックRECORDの呼び出しを追加します。

```
// サイトとして設定されているドキュメントを検索する。
var elem = document.getElementById("searchDoc");
elem.addEventListener('keypress', do_search);
// Enterを押したときの列のサイトを検索する。
function do_search(e) {
    if (e.keyCode === 13) {
        let ie = e.srcElement;
        let idx = ie.getAttribute("data-term-index");
        let term = ie.value;
        let site_url = "site:" + document.querySelector("#site_url-" + idx).value + " ";
        let searchUrl = "https://www.google.com/search?q=" + escape(site_url) + term;
        console.log(searchUrl);
        // 検索履歴を保存する -- 追加する行。
        const result = apex.server.process(
            "RECORD",
            {
                x01: site_url,
                x02: term
            }
        );
        window.open(searchUrl, "_blank");
    }
    return false;
}
```



以上で完成です。

機能を追加したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/my-document-search-wh.sql>

Ajaxコールバックとapex.server.processの使い方のサンプルとして作ってみました。x01、x02の使い方などは、サンプルがないと分かりにくいかと思います。

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 22:53

共有

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
